

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0278
施設名	光明第五保育園
施設所在地	八王子市山田町 1 6 8 8 - 2
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

《日時計 光》

<テーマの設定理由>

東京都が主催する「とうきょうすくわくプログラム」の『乳幼児期の豊かな育ちをサポートするため、主体的・共同的な探求活動を通じて幼児教育・保育の充実を図る』という目的に賛同し、本園でも取り組むにあたり、「身近な自然」で子ども達の興味、好奇心や探求心を刺激する事はなんだろうと考え、担当保育者を中心に全職員で話し合った結果、『光と水』をテーマに決定した。様々な自然現象を通して、光と水にちなんだ様々な体験ができるようにしていきたい。

2. 活動スケジュール

時の記念日にちなんで、鉛筆を空箱の中央に垂直につけて、東西南北の印をつけた柱型日時計を作った。その時計でどうやって時刻が分かるのか、仕組みを子ども達に説明するために、室内を暗くして、懐中電灯を太陽に見立て、鉛筆に影が出来ることを見せた。その後公園に行き観測。まず、磁石で北の位置を計り、日時計に印をつけた東西南北の位置に合わせて、30分毎の計測した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・手作り日時計

・事前に日時計の仕組みを、懐中電灯を使って見せることで、興味関心が湧くように工夫した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

〈公園で日時計で観測〉

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>



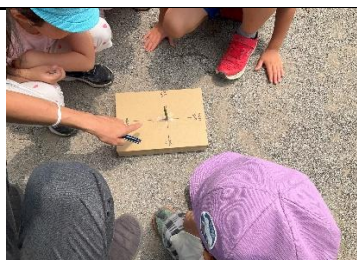
事前に室内を薄暗くして、懐中電灯を太陽に見立てて、北の方角を磁石で合わせて柱時計を置き、鉛筆の柱に光を当てました。



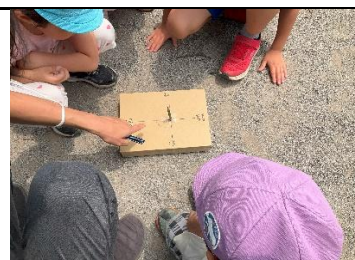
柱の陰に、印をつけました。子ども達は、目を丸くして見ていました。光を当ててできた陰に、とても興味を持ったようです。



早速公園で。日時計を北の位置を合わせます。10時。10時半・11時の3回計測しました。



一回目の観測。陰に印をつけます。



二回目の観測。陰にに印をつけます。



三回目の観測の時に、影をなぞった三本の線を見て、「だんだん短くなっている」とS君が気が付きました。何で短くなったのだろうと問いかけると、K君が太陽を指さしながら、「太陽が、頭の上に来たからじゃない」と答えていました。他の子ども達も、太陽を見つめそうなんだ、と頷いていました。子どもたちの様々な気づきに、驚きました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

時の記念日にちなんで、子ども達と一緒に日時計を作り、公園で実際に観測して見ました。保育室で行ったデモンストレーションで、子ども達の好奇心は、日時計に向きました。公園での観測も、観測の時間は、一旦遊びを止めて集まってきました。鉛筆の陰の跡を見た後の、子ども達の気づきには驚きました。昔はこのように日時計を使い、太陽の日周運動を利用して設置した場所の時刻を知ったことを、子ども達と一緒に体験ができた事が素晴らしかったです。